



コミュニティだより



発行者：新津中央コミュニティ協議会（新潟市秋葉区新津本町1-2-39 TEL 0250-24-4219 Fax 0250-24-4229） 発行人：清野 展



ステキな 発表でした 第2回 新津地域 交流まつり



昨年の11月2日（土）新津地域交流センター主催の「第2回新津地域交流まつり」が開かれ、たくさんの方々からお出でいただきました。ステージ発表では、写真にもあるように小学生のスピリッツダンス、フラダンス、合唱、オカリナ演奏が披露され、観客を感動させる発表ばかりでした。また、三流亭楽々さんの軽妙な司会進行で、発表の合間も楽しく過ごすことができました。楽々さんの落語は本当におもしろく会場は笑いの渦でいっぱいでした。

フロアでは、ポップコーンの無料配布や、つりゲームが行われ、中央コミュニティ協議会は共催団体としてつりゲームを担当し、運営に協力しました。

順調な歩み出し

新津中央コミュニティ協議会では、今年度から新規事業として「秋葉山活性化事業」と「防災関連事業」を立ち上げ、会全体として取り組みました。最初の取組としてはどうだったのか、1年間の活動を振り返ってみました。

I 秋葉山活性化事業

新津の代表的な自然でありながら、区民にあまり知られていなかったり忘れられていたりしている秋葉山の魅力を発掘して、PRしていこうというのがこの事業の趣旨です。今年度実施した活動は次の三点です。

- 1 秋葉山遊歩道を調査して、区長に提言書を渡した。
 - ① 雑木繁茂による眺望阻害 ② 秋葉湖の水草の繁茂
 - ③ 標示板の劣化や落下 等について改善を要望しました。
- 2 新津一小の全校秋葉山ハイキングに引率参加した。
- 3 区の産業振興課主催の「秋葉山つるきり隊」に参加し、遊歩道の整備に協力した。



区長に提言書を渡す



雑木繁茂による眺望阻害



秋葉湖の水草の繁茂



標示板の劣化



標示板の落下



新津一小秋葉山ハイキング引率

成果と今後の課題

秋葉山活性化に向け一歩踏み出したことは大きな成果だと考えています。この後調査活動を継続するとともに、史跡や歴史を学習する活動に重点を置きたいと考えています。

II 防災関連事業

近年、各地で大災害が起きており、各町内会では、防災訓練の必要性を痛感しております。新津中央コミュニティ協議会でも町内会長さん方から、各町内の防災関連の活動を支援してほしいという要望が強く出されており、本会では、今年度は次のような事業を行いました。

1 濃煙テントによる煙体験

(1) 「新津あおぞら市場」での開設 9/29(日) 約160名が参加



(2) 田家1丁目 10/6(日)



(3) 下興野町 10/14(月)

2 防災研修会

(1) 防災図上訓練 9/25(水) 12町内51名参加



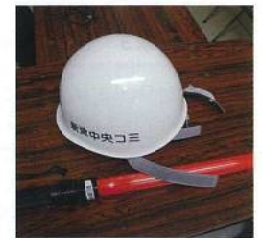
(2) 防災研修会 11/13(水)

秋葉三町内の防災避難訓練に基づく研修 34名参加



3 防災グッズの貸与

防災グッズの防犯・防災部員への貸与



成果と今後の課題

管内の防災意識は確実に高まってきています。今後、二次避難所等の組織の立ち上げに力を入れていきたいと思っています。

写真で巡る今年度の専門部活動

文化教養部

● 心地良いウォーキングを学ぼう【9月22日】



● 史跡を訪ね歩こう (小口岩宮廟、熊沢公園) 【10月27日】



健康福祉部

活動に参加して

田家3 吉川久美子さん

9月21日、「おはよう朝ご飯料理講習会」が開かれました。毎年は親子料理教室なのですが、今回は新津一小の地域子ども料理教室とコラボして、子ども達中心の賑やかなセミナーとなりました。

メニューは、具沢山のお味噌汁、オムレツ、トマトのデザートなど、朝からおいしく栄養たっぷり！中でもオムレツは苦戦する料理ですが、講師の手つきを真似、プロ並みの腕前を披露してくれたシェフもいました。

参加者の皆さん、ありがとうございました。

● おはよう朝ごはん～親子料理講習会～【9月21日】



● 健康測定会【9月29日】



活動に参加して

南町 1・Hさん

「心地よいウォーキングを行うために」に参加しました。日常気にしなかった歩く姿勢や心拍数のチェック等、基本的な事柄について学び勉強になりました。

その後のウォーキングで、程良い汗を流し、爽快な気分になりました。

今後もこのような計画を希望します。

田家2 田中 清範さん

「熊沢でかつての石油掘りの声を聞く」中世から時空を飛んだコース。頭と足の運動に楽しんだ一日でした。

環境緑化部

● 新津川除草クリーン作戦【9月14日】



● 新津川水仙植栽作業【11月3日】



活動に参加して

本町4 風間 孝雄さん

2013年は、ある人の情熱が大輪を咲かせた年でした。新津川に「花と緑と潤いを」をスローガンにおよそ5万球もの水仙の球根が植えられました。

彼の情熱と人柄に多くの市民や団体、そして大勢のボランティアの人達が共感し、わずか3年で成し遂げた快挙となりました。雪解けと同時に開花する可憐な水仙を、遊歩道を散策する人達が足を止め、語り合い、心休まるひとときを、そんな光景が彼へのプレゼントかも知れません。春になったら遊歩道へ、満開の水仙畑で一服のだいご味を。

● グリーンカーテン
応募作品



防犯防災部

活動に参加して

吉岡町 佐野 千絵さん

パトロールに参加して分かったことは、子ども達が歩道のないところを歩いて登校していることでした。声かけをすると返してくれることが多く、反応があっただけ嬉しかったです。

子ども達に安心の地域を与えてやることは大人の仕事として大切だと強く思いました。

吉岡町は初めて避難訓練を実施してみました。思ったより参加者が多く、防災意識の高まりを感じました。避難訓練を実施してみて、「やってみないとわからないこと」や「隣近所の日頃の付き合いが大切」などを痛感しました。

● ブロック別児童登校時パトロール (7月は合同パトロール)



● こんばんわ市パトロール【8月3日出】



● 防災研修会【11月13日(水)】



事務局から



史跡を再発見してみませんか

川端康成の小説の冒頭「トンネルを抜けるとそこは…」ではありませんが、左の写真のトンネルは秋葉山の熊沢トンネルです。では、このトンネルを抜けると何があるのでしょうか？

答えは、4ページの「活動に参加して」の田中清範さんの「一口感想」の中にあります。

では、右の写真は新津本町2丁目にある地藏堂ですが、なぜこの場所に大切に祭られているのでしょうか？私（本多）は、昨年11月の「史跡を訪ね歩こう」に参加して初めて分かりました。右下の写真は秋葉山にある祠と秋葉神社本殿ですが、新津中央コミュニティ協議会の管内には、このような「隠れたお宝」が数多くあります。



本会では次年度もこうした「お宝」を再発見し、その由緒を訪ね歩く活動をやっていきたいと思っています。興味のある方は呼びかけがあったら是非参加してみてください。



第2回専門部正副部長会議が開催されました

平成26年1月29日（水）午後6時半から、新津地域交流センターにおいて、第2回新津中央コミュニティ協議会の専門部正副部長会議が開かれ、各専門部長から、今年度の活動報告と反省が出されました。



各部とも昨年度の反省を生かし、積極的に他団体との連携を図るなどして活動の深まりを見ることが出来ました。

また会全体として実施した「秋葉山活性化事業」や「防災関連事業」も、各部の部長・副部長が先頭に立って活動してくれたお陰で、順調に歩み出す事が出来ました。



次年度は、今年度の反省を生かし、各活動が広がりや深まりのあるものにしたいと確認し合いました。

【編集後記】

今年度は、新規事業を二つも立ち上げ、なかなか忙しかったのですが、各部の部員や地域の皆様の協力もあって、一定の成果を上げて終える事が出来ました。こうした活動を通して、新津中央コミュニティ協議会の認知度も徐々に上がってきているのではないかと喜んでおります。我々広報部も皆さんの「コミ協活動への理解と参加意欲」を今後少しでも高められるよう紙面の質的充実を努めていきたいと思ひます。
(広報委員 塩田昭裕 記)

(注) 新津中央コミュニティ協議会の各種事業は、主に新潟市からの補助金により賄われています。